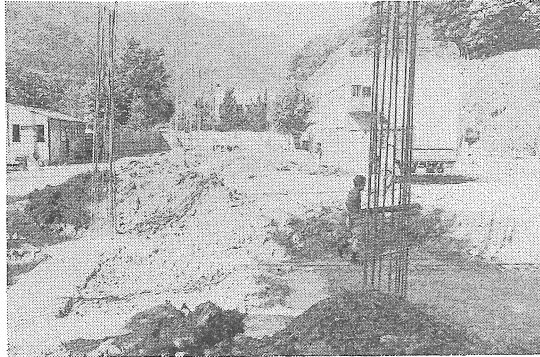


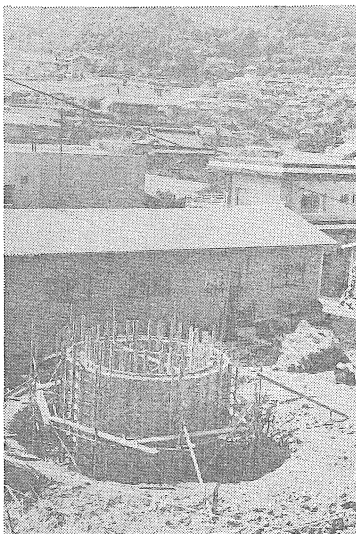
広報 ながはま 11月号



公営住宅1むね16戸建設—52年2月完成見込み



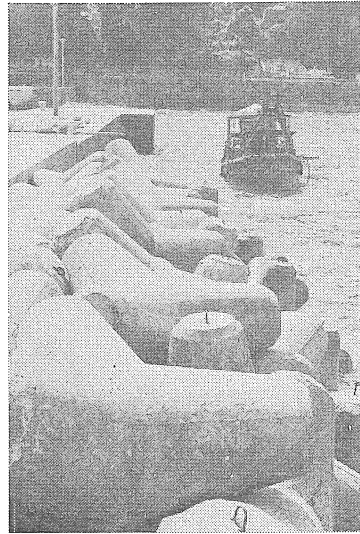
白滝小学校屋内運動場新築—52年3月完成見込み



楯生地区簡易水道施設—52年3月完成見込み（給水人口 1,065人）



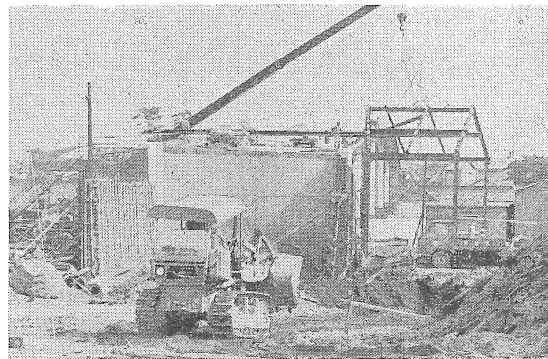
高峰（楯生）地区道路新設—52年3月完成見込み



楯生漁港局部改良—52年2月完了見込み



白滝保育所改築—52年1月完成見込み



新長浜大橋架橋（写真は沖浦側工事）

ツキ智と公がせ

昭和五十一年度の建設事業が着々と進んでいます。
公共事業の推進は生産および需要の拡大など、その波及的效果によって不況回復を図ろうとする一策でもあります。（写真は十月十二日現在）

読者登壇

2んにちは

ことし八月二十三日付けで宇和島警察署から長浜警察官派出所に転動して参りました。よろしくお願ひします。

長浜町へはもちろんこれが初めて。赴任して一番先目に映ったのは青々としたきれいな海の水面で誠に印象的でした。また、少し落ち着いてみると金山出石寺の銅鐘などや沖浦の十一面観音様など実にすばらしい重要文化財があること。それに名物の肱川嵐を初めて体験することなど、私にとっては興味に富んだ町に思えます。

ところで、任務の面からはやはりここでも交通事故が気になります。ことし一月一日から九月三十日までの町内での交通事故発生件数を見てみると三十二件。このうち

事故のない 住みよい町に



佐賀 衛 敏
(50歳)
長浜警察官派出所長

には白滝と今坊での死亡事故二件も含まれているということ、決して少ないとはいえない状態です。この秋の交通安全運動期間中には皆様方の活動状況も見せていただきまして、役場職員や安全協会の方の街頭指導、長浜、櫛生、豊茂の各小学校の皆さんの熱心な交通安全パレードなど、活発な活動には驚きました。これほど熱心な中になぜ交通事故が少なくないのか疑問に思うほどです。私が今、特に気になり目につくのは、小さな子どもさんが自転車に乗って道路を走っている姿がとて多く目につくことです。保護

者の方はいかにもお子さんを痛ましい事故にあわせぬようブレーキなどに故障はないかの点検、一列通行の励行、右折左折の手信号など正しい乗り方の指導を十分にお願ひします。また、歩行者の皆さん、「人は右」のルールを守っておられますか？、町内のように車道と歩道の区別のない地域では「人は右・車は左」のルールが基本で、忘れてはならない大切なことです。交通事故は何も運転手さんだけの責任で起こるものではなく、歩行者側に重大な過失がある場合もあります。

ともあれ、短期間のため十分実状が把握できておりませんが、発生した交通事故や犯罪の原因を分析して事故防止のための指導取締りに努めたい、そして、長浜町の町づくりの目標である「楽しく住みよい町づくり」に努めたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

消 防 署

16 人態勢整う

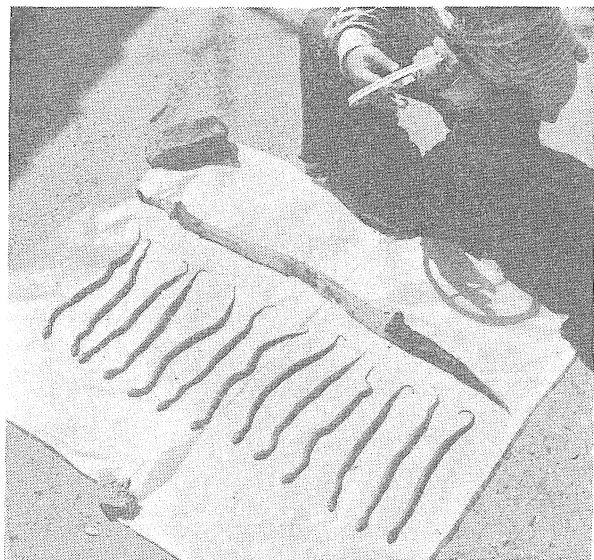
欠かせない団の協力

私たちの町の消防と救急業務に携わっている消防署（大洲地区広域消防事務組合長浜支署）はこの十月一日から、予定していた総員十六人による執務態勢が整い、よりスムーズに業務が遂行できることになりました。

念願にこたえて長浜支署は昨年の十月一日に業務を開始しましたが、当初の一年間は完成態勢（総員十六人態勢）の半数の職員で業務に当ることとなり、人員不足による種々の欠陥をかかえながらも消防団などの協力を得て業務の遂行を図ってきました。

十六人態勢が整ったことにより支署長をはじめ危険物の取扱いや住宅確認などの指導を行う専任の予防係が配置されたほか、常時勤務員がこれまでの三、四人から六、七人となり、これによって救急業務と消火業務が重なって発生した場合なども、最少限ながら必要な人員が整うことになりました。しかし、とは言っても、この態勢だけで消火活動などが完遂できるというわけでは決してなく、消防団などの協力なくしては完遂できないため、これまで同様に団との連携および協力態勢を堅持してゆくことになっています。

なお、防災は関係機関の態勢が充実したから万事OKというものではなく、やはり地域住民と関係機関の予防と防災にかける連携がうまくとれていてこそ成果のあがるものであるということを再度認識いただき、皆様方のご協力をお願いします。



でるワでるワマムシの赤ちゃん13匹

柿ノ久保の通学路 世に出る寸前で退治

○…さる九月十四日午前十時ごろのこと。下須戒柿ノ久保の通学路でもある農道で、近くに住む長浜中学校二年・西内猪夫君（一四）が大マムシ（通称「ハメ」）を発見、騒ぎを聞いてかけつけた同地区の主婦・矢野チヨカさん（三三）が、放っておいては大変、と木の枝で恐る恐る退治した。

○…体長約六十五センチ、胴回り十二、三センチの全体が黒色の大マムシ。矢野さんは、あまりにも大きくて珍しいので退治したあと自宅に持ち帰り、木切れでつづいていたら突然大マムシの腹が割れ、中から約二十匹、子どもの小指大のマムシの赤ちゃんが次々と現れて合計なんと十三匹。「マムシの子は多くてもせいぜい三、四匹のもの」という通説をくつがえしたマムシにまたまたビックリ。

○…それにしてもこの「赤ちゃん」いずれも「死産」となったわけだが、通学路付近だけにもう二、三日も発見されなかったら十三匹がいっせいに人の世を脅かす存在となるところ。驚きと同時にホッと胸をなでおろすできごとだった。

〔写真は十三匹の赤ちゃんマムシとあわれな姿の親マムシ〕

▷ あなたと市政の広場 ◁

議会

第4回臨時会



長浜町議会第四回臨時会が九月二十日に長浜町体育館で開かれ一般会計補正予算、請負契約の締結についてなどの議案が原案通り可決されたほか、新しい議長、副議長が決まりました。



二宮議長



大本副議長

議長に二宮 副は大本氏

宮本数美氏が九月十八日付けで副議長の職を、また山下清雄氏が九月二十日付けで議長の職を辞任したい旨の申し出があったことにより、今議会ではこれを追加議案として後任の人選が行われました。その結果、新しい議長に議員歴約

会 員 委 任 常		
総務	六人	◎大成 淳 ○平井豊秋 池田 登 大本春明
文教厚生	七人	◎堤 正和 ○塚本弘基 一宮泰忠 菊地満男
産業建設	七人	◎村本武則 新 盛己 二宮義徳
		◎桜田和夫 ○矢野一男 浦田 定 山下清雄
		宮本数美 城戸岡政雄 西宮正幸

◎は委員長 ○は副委員長

「通行妨害で迷惑」

大和橋歩道橋での 魚つり

声：魚つりをする人をお願いいたします。大和橋の歩道橋で魚をつる人が大変多く自転車利用者、歩行者の方々に大変迷惑をかけておられますが、通学路でもありま



ですが、歩道橋の真ん中でたき火をするなどは道路交通法七十六条

お答え：そのつり人は、たぶんつり人としてのマナーを身につけていない人だっ

十一年、すでに議長、副議長の経験のある二宮義徳氏（四九）副議長には議員歴約七年の大本春明氏（五五）が選ばれました。また、議長、副議長が改選されたに伴い、常任委員会委員の構成替えが行われ、上表の通り決まりました。

監査委員に池田氏

桜田和夫氏が九月二十日付けで議会議員選出の長浜町監査委員を退職したのに伴い、町長は後任委員に池田登氏（五四）を選任、議会の同意を求めた結果、原案通り同意され同氏が後任に決まりました。

青島海運への出資金を補正

一般会計予算に今回二百二十万円が補正されました。町および町議会では青島丸が老朽化したため新しい青島丸を造る事業に取り組んでいますが、この青島丸を新しい禁止行為、消防法にもふれ、厳に慎まれるよう町からも忠告します。

ただし、マナーを守って行われる以上、つりは健全な趣味であるわけですから「歩道橋では魚つりはしないよう」というわけにもいかないと思われま

印鑑と理由が必要

戸籍・住民票・印鑑 証明の交付

このほど戸籍法や民法などが改正され、戸籍や住民票の謄本、抄

く造るに当たって、また、今後青島航路を運営するに当たっては、ことし十月一日をめどに「青島海運有限公司」という会社を設立して運営、事業化による運営の健全化とサビシの向上を図ることになり、補正された二百二十万円はその会社の出資金。同会社の出資総額は三百万円、このうち八十万円は民間からの出資となる計画。

日ノ浦松ノ久保線の 災害復旧は長浜建設

ことし六月二十二日から二十三日にかけての梅雨前線豪雨により

崩壊した今坊の町道日ノ浦松ノ久保線の災害復旧事業を千二百三十五万円、長浜の有限会社・長浜建設と請負契約を結ぶことが承認されました。

喜多灘小プール建設 に関する陳情を採択

喜多灘小学校の教育振興会長・プール建設委員会・後藤熊市氏、同校PTA会長・東春秀氏ら三人の連名で提出されていた喜多灘小学校プールの建設に関する陳情書が採択され、理事者に送付されることになりました。

本、印鑑証明などを請求する場合は、請求に来られた人は必ず所定の請求用紙にそれらを必要とする理由を記入し、印鑑を押していたなければならないことになりました。その節は印鑑と必要理由の記入をお忘れなく。

豆ちしき

ふろは消火水そう
火事るときバケツ一杯の水で大事に至らなかったことも多い。ふろの水は入れ替えをするとき以外は常にそのままだにしておくと、もしもの場合、立派な消火水そうの役目を果たします。

家族でコーラスを
子どもが学校で歌を習っていると、子どものリードで家族そろって合唱するしきたりをつくってよくと家族同士の心の結びつきが強くなり、共通の楽しみができて家庭円満に役立ちます。

からくた用引き出し
何かメモしてある紙、どこから外れたかわからないネジ、割れたらしい破片など、何かいわれのありそうなものを捨てる前にひとまず入れておく引き出しを決めておくと、あとで大騒ぎして捜し回ることがなくなります。

運動で快眠
サラリーマンに多い頭脳疲労は酒でいやしても眠りは浅く疲れはとれにくいもの。運動による肉体疲労の方が快眠できます。

（投書者無記名）

お知らせ・明るい選挙

拠出年金（51年9月から）

年金種別等	改正前(月額)	改正後(月額)
老齢年金	17,687	20,500
高年齢者5年年金	13,000	15,000
25年納付	28,300	32,500
一般と25年付加年金	33,300	37,500
障害年金		
1級	35,375	41,250
2級	28,300	33,000
母子・準母子年金		
子等1人	28,300	33,000
子等2人	29,100	35,000
子等が3人以上の場合 3人目から1人につき	400	400
死亡一時金	3年以上15年未満17,000 15年以上20年未満21,000	3年以上20年未満23,000

福祉年金（51年10月から）

年金種別等	改正前(月額)	改正後(月額)
老齢福祉年金	12,000	13,500
障害福祉年金		
1級	18,000	20,300
2級	12,000	13,500
母子・準母子福祉年金		
子等1人	15,600	17,600
子等2人	16,400	19,600
子等が3人以上の場合 3人目から1人につき	400	400
母子・準母子福祉年金の子等の年齢の引上げ 現在の義務教育終了前を当面16歳とし、 三年計画で段階的に18歳未満に引上げる。		

中高年齢者雇用

ご利用ください

援護制度

人口構成の高年齢化の進展、いわゆる老人国化への進展に伴い中高年齢者、特に定年退職者など高年齢者の就職問題は、社会的にも重要な問題となっております。

職業安定所では数々の援護制度を活用して、中高年齢者がその能力、経験、知識を活用して生きがいある職業生活を送れるよう求職者を援護しています。また、改正された中高年齢者雇用促進特別措置法では、事業主に対しては中

中高年齢者雇用に関する援護助成措置に次のようなものがありますから、援護制度を活用して中高年齢者の雇用にご協力ください。

- 定年前職業講習（職業訓練等受講給付金）
- 定年前職業訓練（職業訓練等受講給付金）
- 職業訓練（訓練手当）
- 常用就職支度金
- 事業主を対象とする援護制度
- 定年延長奨励金

高年齢者が一定の割合に達するよう五十五歳以上の高年齢者を雇用するよう義務づけています。

中高年齢者雇用

⑥ 明るい選挙運動と明るい選挙推進協議会

昭和二十七年に発足した公明選挙連盟は、当時の民間団体としては中央、地方を通じて唯一の存在であった。しかしながら、昭和三十六年ごろから各地で民間の団体



明るい選挙
怒るに怒れないたずら描き
勝久 電利 いがわ

- 継続雇用奨励金
- 職場適応訓練委託費

年金額引上げ

国民年金額が上表の通り改正されました。

国民年金では、昭和四十八年に給付水準の大幅な引上げとスライド制の導入が行われましたが、その後の石油危機にはじまる著しい経済の変動によって、年金給付および保険料負担の両面にわたって見直しをする必要にせまられたため、本来なら昭和五十三年度に予定されている財政再計算期を二年早めて改正が行われたもの。

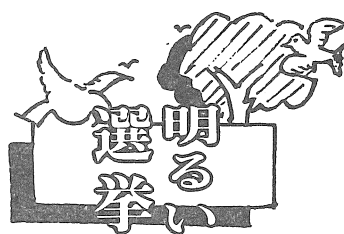
凶器にさすまい銃砲刀剣

不審あればすぐ警察へ

ことし一月から六月までの間、愛媛県下で凶器を使用した犯罪は五十六件。このうち包丁や小刀を使用した犯罪は九一割を占めています。

家庭では、凶器に使用されるおそれのある包丁やナイフ、ハサミなどの刃物類は人目につかない所にしまい、持ち出されたり盗まれないよう注意してください。

刃物類販売店では、不審な人や少年には安易に刃物を売らないようにしてください。刃物を売ったあとで不審な事情がわかったとき



が明るい選挙運動への名乗りを上げ始めてきた。この代表的なものが明るい選挙推進協議会である。昭和三十八年度には全部の都道府県と九十五以上の市町村で結成されている。この協議会は地元学識経験者、青年、婦人団体の代表者、マスコミ関係者、教育関係者などで構成された極めて幅の広いものであって、明るい選挙運動をみずからの運動として推進する一方、選挙管理委員

会と協力、提携して民間運動としての盛り上げを図っている。昭和四十年九月には、都道府県の協議会が集まって、この運動をより効果的に推進するために、中央にある機関が必要であるとして明るい選挙推進全国協議会を設立した。そしてこの協議会には、昭和四十一年度から委託事業が国から委託されている。

また、市町村の協議会から委託された「明るい選挙運動推進員」も協議会の活発化と呼応して増加し、現在では協議会の委員と合わせると全国で約四十万人をかぞえるに至っている。この推進員は協議会を母体とした実践活動家として運動を推進している。

は、すぐ警察に届けてください。地域の皆さん、けん銃や模造けん銃（モデルガン）を持っている人、短刀、ナイフ、鉄棒、自転車のチェーンなどを持ち歩いている人を見かけたり、銃砲刀剣類や火薬類などを拾ったり発見した場合は、すぐに最寄りの警察署へ通報してください。

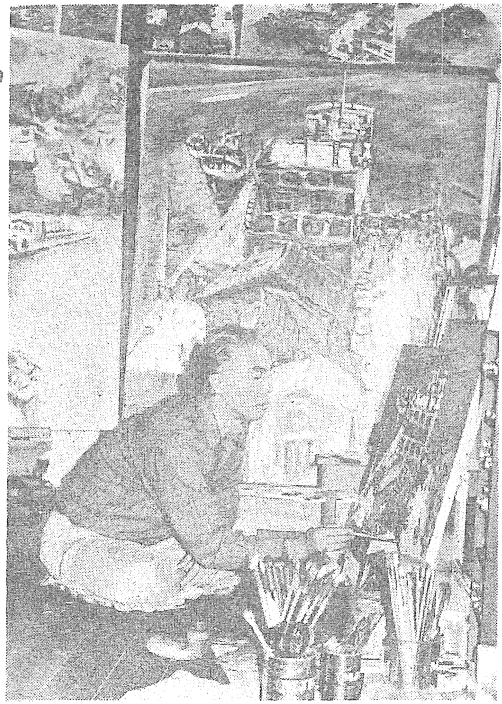
耕うん機さん

踏切事故に注意

農繁期は耕うん機の事故がふえる季節。

耕うん機は速度が遅いうえ車体が長いので踏切での通過時間が長くなりますので、十分な余裕をもって通ってください。できれば、別の人が踏切通過を誘導してください。

国鉄四国総局管内では、今年四



制作中の児玉さん。正面の大作はことしの日展出品作品（長浜のフェリーさん橋付近景風）

ホホー！！

昭和二十二年中学校教員に。昭和二十五年、三十二歳のとき県展初出品でいきなり特選、二度目からは招待出品者となったが以後舞台は中央へ。そして、そのあくる年には人物画で、続く二十七年、二十八年には風景画で三年連続「日展」入選という才。

20年ぶりの絵画に専念

近頃 児玉正信さん（白滝 58歳）

しかし、それ以後ちょうど二十年間、教職員を退職する四十八年まではブツリと絵筆がとどえていた。「教職員組合活動に時間を取られて」ということだが二十年間の空白は大きく、再スタートは感覚を取りもどすのにかかりの努力と時間が必要で、東京へも数か月滞在して美術の吸収に努めるとともに、常に筆をとり、三年目の今、やっと自信が取りもどせたという。

改めて絵になる風景、また、ふるさとの美を教えられる。「地味でいいから深みのある絵を」という。それだけにオーソドックス（正統派的）な作品ともいえそう。

絵を好きになったのは中学三年生のとき自分のかいた絵がある有名デパートにかけられたことからだということだが、本格的に筆を欲十分である。

自宅の二階十畳、六畳、四・五畳三間を一通しにしたアトリエには来年五月に松山の県立美術館で開く予定の個展目指して制作中の作品四十点余りが所狭しと並べられている。おおよそ茶色が主体といえる色調で、身近な町内の風景が多い。児玉さんの才にかかると「こんな所がこんな絵に」と、

とったのは昭和二十五年。当時、地方にいた故・西元治画伯（長浜四十四区・西運夫さんの兄、生前東京在住）や木村八郎画伯（八幡浜市出身。光風会会員。愛媛県美術協会名誉会員。東京在住）らの指導を受け、現在愛媛県美術協会の理事長である小泉政孝氏や日展審査員の井上和氏とともに絵を学んだ。当時は長浜には今の県展の前身ともいえるほど大物画家などのそろった「眩風会（こうらん）」という絵画や音楽愛好家のグループがあり、約五十人にも及ぶ会員で芸術、とりわけ美術熱は盛んで児玉さんもこのグループで絵画に腕ふるっていた。したがってこのころは木村八郎画伯ら先輩を通じて前日展理事長であった故・辻永画伯らの批評を受けた機会もあったというほどである。が、再スタートの今は奥さんのいとこに当たるという東京在住の児玉幸雄画伯（二紀会会員）に指導を仰いでおり、上京することも多い。

人なつっこいソフトな風

ばう、野球が好きで、かつての社会人野球クラブ・オール長浜チームでは現存町の収入役である門田さんとバツテリーを組んでいたとか。今では野球の望みは三男の正三さん（東京・本田技研のピッチャー）に夢を託している。

「念願の絵を専門にける生活です。今からは最高に充実しています」。「かつての眩風会のようなグループも作りたいですね」と意欲十分である。

月から三十一件の踏切事故が起り、二十人の方が亡くなられたリケガをしています。事故の原因は、六十秒までが警報無視、直前横断などの無謀通行です。また、今年の事故の特徴の一つに折角一旦停車したのに、その停車位置が前へ出すぎて列車にはねられた例が六件もあります。踏切では白色の停止線がありますから、この停止線を越えないよう停車してください。また、エンストで列車と衝突した例が四件もあり、昨年より非常にふえています。踏切でエンストしたら自動車を出さず、まず列車を止めてください。この場合、国鉄では列車を止めた損害金はいたたかないことになっています。

公共施設の整備など

要望や意見ドッサリ

51年度お茶懇・行連合同会

生活福祉行政の的確迅速な推進を図るため、身の回り行政に関する意見の交換によってきめ細か

昭和四十八年度から開催されている同合同会は、昨年度で各地域ごとの開催が一通り終了し、今年度から二回目の開催。さる九月八日に沖浦公民館、九月十七日に白滝公民館、九月二十二日に大和公民館で開催されました。

い行政をと、今年度も愛媛県主催の「お茶の間懇談会」と町主催の「行政連絡会」の合同会が町内三地域で開催されました。

昭和51年度お茶の間懇談会・行政連絡会での要望・意見件数

内 容 別	沖 浦		白 滝		大 和		計
	県へ	町へ	県へ	町へ	県へ	町へ	
公共施設の整備に関するもの	6件	7件	2件	9件	9件	4件	37件
福 祉 関 係	1	1	0	0	2	2	6
衛 生 関 係	1	1	2	0	0	2	6
交 通 安 全 関 係	0	1	1	1	0	1	4
用 地（土 地）関 係	0	0	1	1	0	0	2
農 業 関 係	0	0	0	0	4	3	7
開 発 関 係	0	0	0	1	0	0	1
教 育 関 係	0	0	0	3	0	0	3
観 光 関 係	0	0	0	1	0	0	1
そ の 他	1	0	0	1	1	1	4
計	9	10	6	17	16	13	71

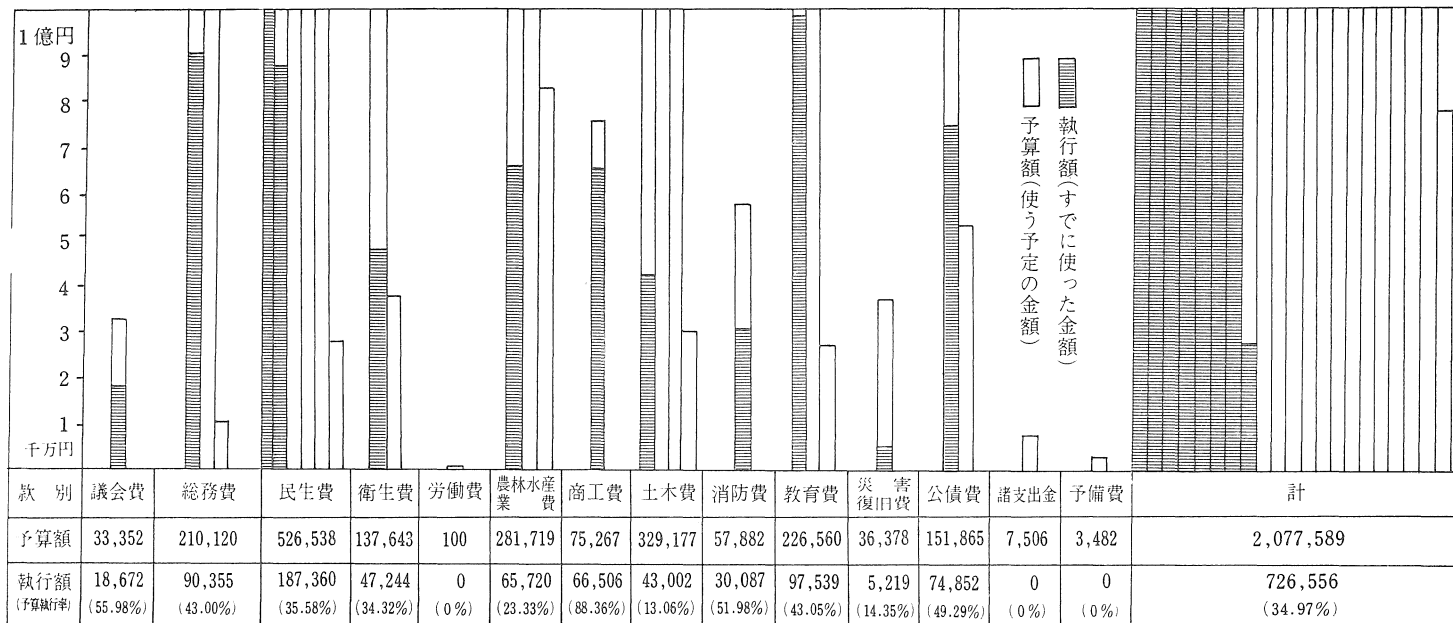
各地域とも出席率は予定の約半数でしたが、公共施設の整備問題を中心にどこも要望や意見がドッサリ出され、県や町の回答をまじえて熱心に懇談が行われました。この合同会は来年度も引き続き開催される予定です。数多く出席ください。開催地別の要望意見の件数は上の表の通り。

現在長浜町の財政

会 計

歳（使うお金）出

（単位：千円）



特別会計

港湾施設



予算額 9,538千円
収入済額 1,958千円
支出済額 4,701千円

国民健康保険



予算額 390,821千円
収入済額 160,155千円
支出済額 165,120千円

国民健康保険直営診療所



予算額 47,301千円
収入済額 1,483千円
支出済額 22,685千円

青島航路



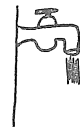
予算額 21,353千円
収入済額 3,529千円
支出済額 9,945千円

住宅改修資金貸付



予算額 13,601千円
収入済額 1,734千円
支出済額 895千円

簡易水道



予算額 103,705千円
収入済額 0千円
支出済額 33,221千円

水道事業会計

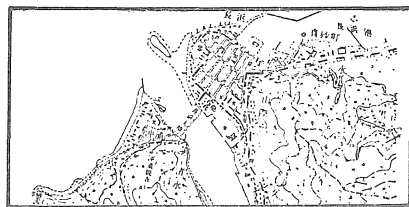
（単位：千円）

科 目	予 算	支 出
水道事業収益	48,424	21,242
水道事業費用	43,338	17,574

工業用水道事業

（単位：千円）

科 目	予 算	支 出
水道事業収益	20,068	3,975
水道事業費用	18,099	5,352



最近「保健所から来ました」とか「役場から紹介されて来ました」とか言って避妊器具や避妊薬品などを訪問販売している人がありますが、保健所や役場では訪問販売に対する協力などはいっさい行っておりません。

このことについて、疑問や不審と思われることがある場合は町役場衛生課にご相談ください。

表彰***

松田忠重さんら福祉功労者16人が、次の方々は社会福祉活動に功労があったことにより、九月二十九日長浜町体育館で開かれた第十回長浜町社会福祉大会並びに県民たすけあい総参加運動推進大会の席上、菊地町長から表彰されました。（年齢略）

山口美千子（長浜十七区） 明閑
定市（長浜二十一区） 田淵弥五郎
（長浜四十五区） 金井暉丸（青島）
松田睦男、高田次次郎、増田龜師
（以上櫛生） 藤井ミサヲ（幸）
滝本サト（上老松） 宇都宮吉幸、
小西豊己、久保多寿子（以上豊
茂） 山口久雄、清水正直（以上白
滝） 松田忠重、小西繁春（以上
柴）。このほか櫛生の宝木芳正さ
ら三十九人の寄付功労者、長浜
の友沢正則さんら六十人の 献血
功労者、長浜の矢野美佐子さんら
十二人の社会福祉活動功労者に菊
地町長や久保社会福祉協議会長か
ら感謝状が贈られました。

後藤熊市さん
今坊の後藤熊市さん（六六・喜

多灘小学校教育振興会会長）は、へき地教育の振興に功労があったことにより、さる十月九日松山市の番町小学校で開かれた愛媛県へき地教育研究大会の席上、岡田愛媛県へき地教育振興会長から表彰されました。

松岡長浜公民館長

長浜公民館長である松岡善作さん（六一）は、長年にわたる館長として公民館活動に成果を上げ、河内功績により、さる九月二十八日辺村の植松公民館で開かれた喜多郡分館役職員研修会の席上、久保喜多郡公民館連絡協議会会長から表彰されました。松岡さんは長浜公

民館長を務めて約五年。

仲田、佐々木係長

長浜町役場建設課の仲田源一管理係長（五〇）は、土地改良事業に功勞があつたことにより、さる十月四日大洲市で開かれた大洲喜多土地改良協議会総会の席上、村上同協議会会長から表彰。

また、同課の佐々木晋一農業土木係長（三三）は、林道および治山事業の設計・監督に功勞があつたことにより、さる八月三十日松山市の愛媛県林業会館で開かれた愛媛県森林土木協会総会の席上、村上同協会会長から表彰されました。

所へ
○豊茂の亀田四郎さん（八四）……

児童図書（世界名作えほん全集、日本名作えほん全集）三十
六冊を豊茂小学校へ

（十一万九千円）を長浜中学校へ
○昭和五十一年度出海保育所保護
者の会…扇風機一台を出海保育

♡ 住所 氏名 婚姻届時年齢
 { 沖浦 友永 } 宇都宮敏雄 (二七)
 浦 由美子 (二六)

結婚

9月長浜町役場届出分(敬称略)



宇都宮敏雄・田美子さんのカップル

出 戒 戒
海 川 川
成 蔵 寺
本 田 尾
唯 梅 シ
次 雄 ゲ
郎 雄 ル
(八六)
(七七)
(六七)

長濱 松浦イセノ	長濱 田那辺真澄	檜生 石山清次郎	檜生 酒井清丸	今坊 岡本利左衛門	下須戒 中野フミエ	住所氏名	死亡時年齢
(八三)	(六六)	(七八)	(五四)	(八二)	(九六)		
					(六四)		

おくやみ

[illegible]

お誕生おめでとう!!

編集後記

あくまでも本人の責任。ただし、事故をなくするための取締りや指導を行うのは警察の任務。近年、大洲・長浜間の県道での事故が増大し、町内の人にも加害者や被害者が多くなってきました。本人はもちろんです。ここは一つ取締り機関の皆さんにも頑張ってもらいたいと思っています。長浜派出所に新しい所長が転勤して来られたので「こんにちば」で交通安全にかける豊富などを伺ってみたい次第。

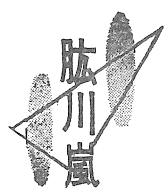
その他、本号はややお知らせ記事が多くなりましたがご一読を「ホホーノ」の児玉さん、芸術の秋に個展が待ち通しいですね。ほかにこのような「ホホーノ」のようなずけるような人ご存知ないですか？、情報不足でこの記事トギレそうです。よろしく。

早くも次号は十二月。早いですね。お風邪など召さぬよう……。

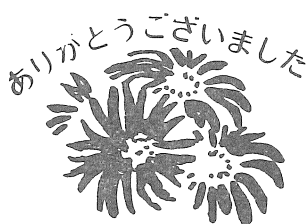
人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう

	10月1日現在	前月との比較
人 口	13,646人 (男 6,468人) 女 7,178人)	9人増 (11人増) 2人減)
世帯数	3,915世帯	2世帯減



共同募金をやっているが要するにお布施である。金品に限らず理法や知恵や勇気をあわれな人々に施すのが布施だが、近頃はお寺の坊さんに施すときだけをお布施とよび、その他の場合は募金、寄付寄贈、贈与、贈賄などいろいろなことばを発明して使っているようだ ▲ ときにはプレミアムとかリベートなどと分かったような分からないような外来語も使う▲お布施は元来悟りを開こうとする者の最高の務めの一つで非常に尊い価値ある行為とされてきた ▲ ところがどこをどう間違ってきたのか知らないがいつの間にか人にタダで物や金をくれてやると贈与税という税金を取られたり、くれた者ももらった者も罰金を取られたり牢屋におち込まれたりということの方が多くなってしまった▲こうなると他人に金品をタダでくれてやることは絶対せぬように、どうしてもしたければ幼児の小遣程度にとどめよと教えた方がましなくらいである ▲ しかしどうもそれではおかしい。やっぱり他人の利益になり他人を喜ばすことは尊いことであり価値あることである▲おかしいということはどこかが間違っておるということである。間違いの根本はどこにあるか、そのところをつきつめずに一部分の事例を取りあげて表彰してみたり罰してみたりしても大した効果は生まれてこないだろう。



寄付

○長浜町

ク ロ ツ バ ヲ テ ソ イ ポ
タ ジ ド ー オ イ サ カ リ
ー エ プ ヘ ー エ ル テ



結婚

9月長浜町役場届出分(敬称略)



宇都宮敏雄・田美子さんのカップル

